

2024年度（令和6年度）事業報告

（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

一般社団法人日本建築板金協会

I. 概況

ロシアによるウクライナ侵攻や中東の紛争、そして米国・トランプ大統領の返り咲きに伴い世界情勢は混沌の様相を深めていると言っても過言ではない。我が国においても諸物価の継続的な高騰や主食であるコメ価格の高騰など不安定な状況が続いている。

経済指標は建設投資73兆円強（前年度比2.7%増）、新設住宅着工戸数79万戸強（同3.4%減）、民間非住宅着工床面積4,500万㎡（同2.3%増）、鉄鋼粗鋼生産8,401万ト（同3.4%減）と予測される。

これらの社会情勢を踏まえながら全板連グループは各都道府県板金工業組合、日板協賛助会員、関連省庁、企業、機関ほかと連携を図りながら事業を遂行した。

特に賦課金/会費については様々な意見を基に議論を重ね19年ぶりの改定を実施。また業界のシンボルとなる板金会館の改修工事にも着手した。厳しい経済状況の中、大きな理解を示していただいたことに感謝申し上げたい。第74回全国建築板金業者岡山大会は46板金工業組合のすべてで開催実現を果たす節目の大会となった。また、責任施工保証制度保証書の整備も法律家の意見を踏まえながら議論を重ね、一つの結論を導いた。

長年の懸案である組合員減少対策は組織運営に係る重要かつ喫緊の課題と位置づけたが、減少傾向が続く結果となった。引き続き組織一丸となった実効性のある対策が重要となる。

<2024年度 重要方針>

★「全板連グループのSDGs」～建築板金業界としての積極的な取り組み

1. 非組合員の加入推進
2. 基幹技能者制度の有効活用（建設キャリアアップシステムとの連携）
3. 次世代後継者の継続的な育成強化
4. 指定商品の継続的展開と新たな指定商品の模索
5. 国や国会議員（議連）、賛助会員、関連メーカー等の外部機関との連携の継続的な強化
6. 環境・エネルギー関連事業への能動的な取り組み

II. 実施事業

1. 総合事業

(1) 第74回全国建築板金業者岡山大会

期日	2024年5月30日（木）
会場	ジップアリーナ岡山（岡山県総合グラウンド 体育館）

総参加者数	2,300名
前夜祭	ホテルグランヴィア岡山

主な来賓（順不同・敬称略、前夜祭含む）

	機関名	氏名
本部 来賓	国会議員	石破 茂（衆議院議員／議連会長） 逢沢一郎（衆議院議員／議連議員）
	国土交通省	蒔苗浩司（大臣官房審議官）
	経済産業省	潮崎雄治（製造産業局生活製品課住宅産業室長）
	メーカー、商社、関連団体 ほか	
地元 来賓	岡山県知事	伊原木隆太
	岡山市長	大森雅夫
	関連団体 ほか	

<参考> 今後の開催予定地

第75回大会	2025年（令和7年）	島根県
第76回大会	2026年（令和8年）	北海道
第77回大会	2027年（令和9年）	福岡県
第78回大会	2028年（令和10年）	岩手県
第79回大会	2029年（令和11年）	徳島県
第80回大会	2030年（令和12年）	福井県

(2) 第44回建築板金業次世代研究会（内閣府届出継続事業）

期日	2024年9月28～29日（土・日）
主会場	札幌プリンスホテル 国際館パミール（札幌市）
参加数	43組合 235名 出展 20社
テーマ	継なぐモノづくり 繋ぐ人づくり
講演 （順不同）	三好さやか氏（インフルエンサー、北海道観光大使） 金村秀一氏（ウィルウェイグループ 代表取締役社長）

(3) 第47回全国建築板金競技大会（内閣府届出継続事業）

期日	2025年3月1日・2日（土・日）	
会場	「富士教育訓練センター」（静岡県）	
参加者	来賓 4名 技能競技の部（ZIC） 38名 建築技術の部（NYAC） 19名（選手合計57名） 参観者 9名 日板協青年部役員 12名 設営スタッフ 延15名（動画配信スタッフ含む）	
入賞者 （敬称略）	【技能競技の部（ZIC）】 1位 溝口隆之（岡山県） 2位 西嶋拓也（山口県） 3位 清野悠太（秋田県） 4位 朝妻享大（鳥取県） 5位 菊地和浩（茨城県） 6位 小山内唯斗（青森県） 7位 桶本真弘（京都府） 8位 西田 登（奈良県） 9位 坂東右京（大分県） 10位 池尻達也（香川県）	【建築技術の部（NYAC）】 1位 片野裕勝（北海道） 2位 益子 到（茨城県） 3位 黒川尚彦（愛媛県） 4位 永徳 太（神奈川県） 5位 橋本直明（三重県） 6位 高山欣也（大阪府） 7位 駒見和俊（埼玉県） 8位 小野原新太（東京都） 9位 栗本真佑（愛知県） 10位 東 武志（香川県）

2. 専門事業

(1) 渉外・受注開発関連事業（担当：小島義郎専務理事（野溝年成副会長））

①登録建築板金基幹技能者制度の推進

各ブロックや組合において講習（新規・更新）が実施された。

【新規】 取得者合計 57 名

期日	ブロック・組合（資格取得者数）
8/24～25	関東甲信越ブロック（23名）
10/16～17	九州ブロック（23名）
2025 3/11～12	北海道（11名）

【更新】

各組合で通信・講習会の諸方式により随時実施した。

2024年度更新申請者 1,143名

2024年度更新者合算更新者数 1,338名（対象者 1,587名） 更新率：84%

登録建築板金基幹技能者 資格者数 2,892名（2025年3月31日現在）

②国（中央省庁）対応（登録基幹技能者の公的評価向上）

国土交通省を中心にCCUS、適正労務費、特定技能制度などに係る連携を図った。

③建築板金業振興議員連盟対応

石破茂会長の内閣総理大臣就任と衆議院解散に伴い総会は中止となった。

役員体制は下記の通り（敬称等略）。

会長	—
副会長	中谷 元（衆・高知県）
	田村憲久（衆・三重県）
幹事長	尾崎正直（衆・高知県）
事務局長	—
事務局次長	宮下一郎（衆・長野県）

④関連機関対応

建設産業専門団体連合会（建専連）が開催する各地方整備局幹部との意見交換会、依頼のあったアンケート調査などに協力・対応した。

その他の団体（建設業振興基金ほか）についても定期的な会合への出席、各種アンケート調査への協力、或いは行事等における協力などを行って連携を図った。

⑤メーカー、商社との連携

定期的な訪問など、従前にも増した連携強化を図った。

⑥賛助会員との連携

通算 17 回目の交流会を開催した。

会員数 37 会員(入会 2 会員、退会 1 会員) (2025. 3. 31 終了時点)。

【入会】 アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc、(株)トーコー

【退会】 NS 建材薄板(株) ※日鉄物産(株)への吸収合併

(2) 商品開発関連事業 (担当: 中島福則理事)

①指定商品などの事業の推進

- ・「全板連ルーフィング」「カップ 23」ほか (日新工業株式会社)
- ・「ルーフエナシャイン」(太耀産業株式会社)

参考 <推奨商品>

- ・「ソーラー換気棟」(株式会社太田製作所)
- ・各種業務用機器関連 ほか
(株式会社オリコビジネス&コミュニケーションズ)
- ・「ファストフラッシュ」「フラッシュシール」(株式会社タイセイ)

②ドローンに関する関連情報収集と取り組み方の検討

(3) 環境・エネルギー関連事業 (太陽光発電ほか) (担当: 岩間辰夫理事)

- ・太陽光発電事業

屋根工事を生業とする当業界が請け負うべきものとしての認識は変わらず、前向きな工事受注活動に邁進した。賛助会員(株絆)との連携を継続。

- ・環境/エネルギー全般に関する情報収集と提供、関連機関との連携を継続した。

3. 顕彰事業

各顕彰に業界関係者を推薦し、その努力や功労に報いた。(順不同・敬称略)

(1) 大臣表彰など

種別	受賞者
建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰	西嶋徹也 (日板協理事)

種別	受賞者
優秀施工者国土交通大臣顕彰 (建設マスター)	櫻田勝晴 (北海道) 高橋信一 (宮城県) 菅野力男 (東京都) 中林賢治 (島根県) 木内英雄 (徳島県)

優秀施工者 不動産・建設経済局長顕彰 (建設ジュニアマスター)	福岡裕也 (徳島県) 沼尾健太 (栃木県) 小林 守 (埼玉県)
---------------------------------------	--

(2) 全国建築板金業者大会における表彰

種別	被表彰者数
感謝状 (組合理事長退任)	2名
表彰状 (組合理事長6年以上在任)	1名
表彰状 (組合事務局10年以上勤務)	2名
感謝状 (大会開催組合)	岡山県板金工業組合
功労章 (組合役員10年以上もしくは同等功績)	59名
収益事業推進組合表彰 (指定商品部門・保険関連部門)	各部門3組合 合計6組合
全国建築板金競技大会	第46回大会 両部門上位5位 10名
同上 特別表彰 (両部門優勝)	1名

4. 青年部事業 (担当 川島隆司理事)

従前同様の支援及び協力を行った。

(1) 第49回通常総会／第25回全国青年部部長会議

行事名	期日	会場
第49回通常総会	6.14 (金)	東京グランドホテル
第25回 全国青年部部長会議	6.14 (金)	同上

日板協・内閣府届出継続事業の「建築板金業次世代研究会」「全国建築板金競技大会」においては実務的な運営を担い、両事業の中心的な役割を果たした。

Ⅲ. 庶務事項

1. 会員数の状況

(1) 正会員（各年度4月1日現在）

	2023年度	2024年度	増減数
会員数（組合）	46	46	±0
組員数（事業所）	7,110	6,939	-171

(2) 賛助会員（各年度3月31日現在）

	2023年度	2024年度	増減数
会員数	36	37	+1

2. 会議の開催

(1) 総会（1回）

回数等	期日	会場（オンライン時は主会場）	主な内容
第54回 定時総会	5.29(水)	ホテルグランヴィア岡山	事業報告・計画、収支決算・予算等の承認 ほか

(2) 理事会（4回）

回数	期日	会場（オンライン時は主会場）	主な内容
第1回	5.1(水)	板金会館	第54回定時総会上程議案の決定
第2回	7.18(木)	板金会館 (オンライン)	2024年度事業推進方法の確認 ほか
第3回	10.24(木)	板金会館	2024年度事業推進状況の確認 ほか
第4回	2025 3.13(木)	板金会館 (オンライン)	2025年度事業計画の概要確認

(3) 正副会長会議（4回） ※板金会館修繕委員会を兼務

回数	期日	会場（オンライン時は主会場）	主な内容
第1回	4.4(木)	板金会館	第54回定時総会上程案の確認 ほか
第2回	7.4(木)	板金会館 (オンライン)	2024年度事業推進方法の確認 ほか
第3回	10.3(木)	板金会館	2024年度事業推進状況の確認 ほか
第4回	2025 2.5(水)	板金会館	2025年度事業計画の概要確認 ほか

(4) 監事会（2回） 定款第24条に基づく監査

回数	期日	会場（オンライン時は主会場）	主な内容
第1回	4.26(金)	板金会館	2023年度 決算監査
第2回	10.22(火)	板金会館	2024年度 中間監査

(5) 全国理事長連絡会議（1回）

回数	期日	会場 (オンライン時は主会場)	主な内容
第1回	11.8(水)	板金会館 (オンライン)	事業経過報告と各種伝達、依頼

(6) 賛助会員交流会（1回）

回数	期日	会場	主な内容
第17回 (通算)	2025 2.5(水)	帝国ホテル 東京	賛助会員との交流、意見交換 ほか

(7) 登録建築板金基幹技能者講習委員会（4回）

回数	期日	会場	主な内容
4回	6.27(水) 7.18(木) 9.7・8(土・日) 10.24(木)	板金会館	試験問題の作成と検証 9.7・8 トレーナー養成講習 (オンライン) 岩室委員長、西嶋委員、熊谷委員(業界) 大平委員、大森委員(外部)

3. 会員組合並びにブロックとの連携

期日	行事	場所	出席者
4.11(木)	西部ブロック 総会	大阪府	天野理事長、小島専務
4.12(金)	四国ブロック 総会	高知県	同上
4.16(火)	九州ブロック 総会	大分県	同上
4.22(月)	東北ブロック 総会	山形県	同上
4.24(金)	関東甲信越ブロック 総会	茨城県	同上
4.25(水)	中部ブロック 総会	愛知県	同上
5.10(金)	北海道ブロック 総会	北海道	同上
2025 1.24(金)	東京都板 賀詞交歓会	東京都	小島専務

4. 関係諸機関・団体との連携（抜粋）

期日	行事	場所	出席者
(年度内2回)	建築施工管理技術検定委員会	国土交通省	神田委員
5.13(月)	令和6年能登半島地震 災害見舞金贈呈	新潟県	野溝副会長
6.13(木)	建設産業共同教育訓練協議会 全国建設産業教育訓練協会 令和6年度通常総会	東京都	天野会長、小島専務
6.18(火)	令和6年能登半島地震 災害見舞金贈呈	石川県	同上
7.10(水)	令和6年建設事業関係功労者 等国土交通大臣表彰 (西嶋徹也氏)	東京都	黒木係長、福間係員
8.1(木)	令和6年度国土交通本省と建 専連との定例意見交換会	東京都	小島専務
10.1(火)	国土交通省「労務費の基準の 検討の進め方に関する専門工 事業団体等向け説明会」	東京都 (オンライン)	小島専務、小林局長
10.18(金)	建設マスター・ジュニアマス ター顕彰式典	東京都	黒木係長、福間係員
11.14(木)	建設産業専門団体連合会 令和6年度全国大会	東京都	鳥居係員
2025 1.8(水)	令和7年全国ファインステー ル流通協議会新年賀詞交換会	東京都	天野会長、小島専務
1.15(水)	日本金属屋根協会賀詞交歓会	東京都	小島専務

5. 関連省庁ほかとの連携

(1) 国土交通省

全国建築板金業者大会を中心に、全国建築板金競技大会各種表彰や後援名義、審査員の派遣など従前同様の連携を図った。

建築施工管理技術検定委員を神田敬文氏(埼玉県板)が務めた。

(2) 経済産業省

全国建築板金業者大会を中心に、従前同様の連携を図った。

(3) 厚生労働省

全国建築板金競技大会における大臣賞や後援名義ほか、従前同様の連携を図った。